

あーばんとーく

平成20年3月号(第127号)

- 子供達にまちの魅力を！(P.1)
- 神戸らしい眺望景観 50選 10選を選定しました！(P.2)
- 「山麓リボンの道」に行く-その4：布引のみち(P.3)
- まちづくり会館からのお知らせほか(P.4)

あーばんとーくの感想をお寄せ下さい！

発行：こうべまちづくりセンター

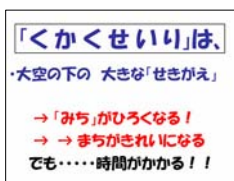
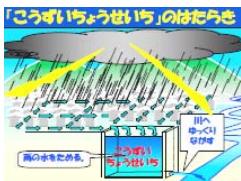
<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

平成19年度 子供達にまちの魅力を！

小学校総合学習「まち発見」全10校 完了!!

小学校総合学習「まち発見」プログラムは、神戸市建設局主催の「みちの学校」の一環として、3・4年生の子ども達に、自分たちの住むまちへの愛着を育むことを目的に展開しています。平成19年度は、こうべまちづくりセンターが担当して、全10校で実施しました。

まち・ニュータウン・農村/道路・公園・河川/遺跡・史跡・社寺仏閣/安全なもの・美しいもの・面白いもの/まちの現在・まちの歴史・まちの未来 など小学校毎にそれぞれの地域固有の良いところや歴史に関するテーマを探しだし、その地域ならではのまちの魅力を子ども達に伝える「スライド講義」と「まち歩き」です。



①鈴蘭台小学校 3年生89名
「安全施設」 5/29

北区の中心鈴蘭台において斜面地に建てられたまちと区画の整備されたニュータウンを歩き、まちの成り立ち・道の役割・水害から守る洪水調整池・鈴蘭台大橋の耐震補強等の安全を守る施設や仕組みの意義を学習。



②板宿小学校 3年生79名
「区画整理」 6/21

神戸市での住民参加の街づくり活動の先駆けの一つとなった板宿地区。子供達には難解な区画整理や・山陽電車の地下化を説明。便利になった商店街や事業記念モニュメント「カルタゴ」を訪ねるまち歩きを展開。

③桜が丘小学校 4年生49名
「押部谷を歩こう！」 10/5

ニュータウンから農村へ。人工の池「洪水調整池」と自然の池「川池」を目的地に、押部谷を車の通れる最奥部まで遡上。そこで子ども達は幻の遺跡「磨崖仏」を目撃する。



④長田南小学校 3年生39名
「交通の要衝&よみがえる不屈のまち：長田」 10/15

神戸の西の副都心で、戦災・震災の2度の大火から不屈の精神で蘇る長田の町の魅力を紹介。極限の逆境でも生きる強さを説く。

⑤西郷小学校 3年生78名
「酒蔵の町「西郷」」 10/25

景観形成事業で再現された酒蔵のみち・西国浜街道の跡・小学校横の護岸に今も残る阪神電車橋梁跡・昔の海岸線・天井川となった都賀川など。西郷に残る豊富な魅力をまち歩きと共に紹介。



⑥丸山小学校3年生44名 「丸山たんけん隊」 1/25

地質学上の大発見となり、六甲山隆起説を証明した天然記念物「丸山衝上断層」。一ノ谷の戦いで有名な鶴越の坂落としをドラマ映像で紹介。史跡明泉寺から駅前の「丸山」登山を敢行。山腹の丸山観音を拝む。

⑦東灘小学校3年生180名
「深江のまち今と昔」1/22

西国浜街道とかつての名勝踊り松跡・名残の松・魚屋道・大日靈女神社・東灘小の起源の寺子屋・正壽寺を巡る一方、現在工事中の阪神電鉄立体交差化事業を紹介。深江のまちの現在・過去・未来を学習。

⑧西落合小学校 3年生42名
「山、海へ行く！」 2/13

小学校の直ぐ横の地下を通る神戸市ニュータウン開発の象徴一山を海へとダイナミックに運んだベルトコンベアーを紹介。名谷駅前に今なお残る自然地形の落合池を散策しながら在りし日の名谷を偲ぶ。

⑨美野丘小学校 3年生67名
「美野丘むかし探偵局」 3/3

社寺仏閣散策編。廃寺から復活した祥龍寺・清盛ゆかりの敵島神社・戦没者を祀る護国神社・菅原道真を祀った五毛天神・美野丘小の起源の五毛の寺子屋・海蔵寺へと、子供達は「美の丘歴史リボンの道」に行く。

⑩大池小学校 3年生75名
「故郷への長い道」 3/5

ニュータウンを飛び出し、上唐櫃の農村地帯から大池小・唐櫃小・唐櫃小の寺子屋にして清盛ゆかりの多聞寺まで片道2kmの「故郷への長い道」を進み、加古川・武庫川の分水嶺を歩いて帰る。

神戸らしい眺望景観 50 選、10 選を選定しました！

神戸市には、六甲山系の山並み、海や港を背景として展開する市街地や、西北神地域の豊かな自然と一体となった田園集落など、変化に富んだ素晴らしい眺望景観があります。

平成 19 年 8 月には、神戸らしい眺望景観の募集を行い、市民や神戸を訪れた方から多数の応募をいただきました。これらの応募をもとに神戸市都市景観審議会での審議を受けて、神戸らしい眺望景観 50 選、10 選を選定しましたので、ご紹介します。10 選については、次号からそれぞれご紹介していきます。

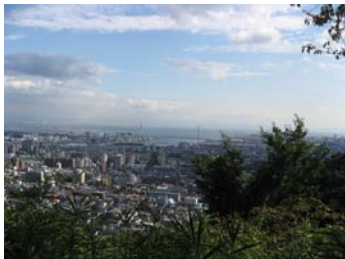
(眺望景観とは「眺めの良い場所」から「眺められる対象」を見たときの景観のことをいいます。)

(ホームページ) <http://www.city.kobe.jp/cityoffice/33/33/keikan/choubousentei.html>

神戸らしい眺望景観 50 選 (眺める場所)

区	番号	場所・名称	区	番号	場所・名称	区	番号	場所・名称	
東 灘	1	保久良神社	中 央	18	フラワーロード	北	35	つくはら湖	
	2	白鶴美術館付近 (山麓ホノの道)		19	ポートアイランド北公園	須 磨	36	須磨離宮公園	
	3	住吉橋付近 (住吉川)		20	ポーアイしおさい公園		37	離宮道	
	4	六甲アイランド北公園		21	ポートライナー		38	須磨海浜公園	
	5	六甲アイランド・リバーモール		22	神戸空港		39	おらが山 (高倉山)	
	6	御影公会堂付近 (石屋川)		23	北野天満宮		40	須磨浦山上遊園回転展望閣 (鉢伏山)	
灘	7	六甲ガーデンテラス		24	元町1丁目交差点付近 (鯉川筋)		41	須磨浦公園	
	8	六甲天覧台 (六甲ケーブル山上駅)		25	ポートタワー		42	須磨海釣り公園	
	9	篠原橋付近 (都賀川)		26	中突堤中央ターミナル		垂 水	43	井植記念館
	10	長峰坂		27	神戸港遊覧船			44	五色塚古墳
	11	灘丸山公園		28	ヴィーナステラス(ヴィーナズリッジ)			45	アジュール舞子
	12	掬星台		29	モザイク	46		舞子ピラ	
中 央	13	布引ハーブ園・展望広場	兵庫	30	氷室町付 (山麓リボンの道)	47		孫文記念館	
	14	夢風船	兵庫	31	会下山公園	48		舞子海上プロムナード	
	15	新神戸駅	長 田	32	鶴越森林公園	西	49	雌岡山	
	16	阪神高速道路神戸3号線	長 田	33	高取山		50	神出バイパス	
		17	市役所1号館展望ロビー	北	34	光山寺			

神戸らしい眺望景観 10 選 (眺める場所)



保久良神社 (東灘区)



掬星台 (灘区)



ポーアイしおさい公園 (中央区)



ヴィーナステラス (中央区)



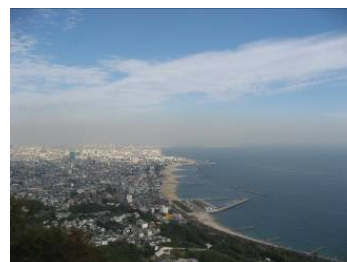
会下山公園 (兵庫区)



高取山 (長田区)



光山寺 (北区)



須磨浦山上遊園回転展望閣・鉢伏山 (須磨区)



アジュール舞子 (垂水区)



雌岡山 (西区)

(都市計画総局計画部地域支援室)

「山麓リボンの道」を行くーその4：布引のみち

森崎輝行
(いきいき下町推進協議会)

新幹線新神戸駅をくぐり、砂子橋を渡ると尾根に登る道と川沿いの道があります。尾根への道を200mほど進むと展望台に出ます。さらに60mほど山道を上り、左の岩場の間のせまい階段を下ると滝に出ます(川沿いの道は、順次、南から雌(メ)滝・鼓(ツ)ミケ滝・夫婦(オト)滝・雄(オ)滝と名付けられた滝の全てをみることが出来るコースです)。

この滝の総称「布引き」とは、なかなか美しい表現の言葉です。司馬遼太郎の「街道をゆく21」の中に、『雄滝は垂直の落下ではない。鉄さび色に濡れた山骨が、やや勾配を持ち、滝に背もたれさせているような感じで水を落としてゆく。布引というのは、その感じから出た命名であろう。白い栲(ク)の布を晒(サ)すような角度だから、布引かと思われる。…(中略)…布引の滝という名は、京都文化の延長のなかでつけられた名と考えてよく、農民や木こりが、仲間同士でわかりあえばいいだけの符牒(フダ)としてよんでいた地名ではない。…(中略)…これによっても、布引の滝が、いかにそのあざやかな名前によって滝という自然の生命が、人文的にも深められてきたかがわかる』。なるほど、滝のまわりは、歌碑があちこちに建っている。源俊頼が「山姫の嶺の梢にひきかけて晒せる布の滝の白波」と詠んでいるように『布』で形容されている歌が多い。



雄滝

滝に別れを告げ、展望台までもどり、左の坂を下るとすぐ、川崎造船所の創始者川崎正蔵氏が川崎家の菩提寺として明治38年に建立した臨済宗徳光院に出ます。この寺は、もとこの付近にあり、大正年間に中央区熊内町に移転した真言宗滝勝(リウウヨウ)寺の境内につくられました。この寺の多宝塔は、建立年代のわかる多宝塔としては、県内で最も古いものです。この多宝塔も、もと垂水区の明王寺にあったのですが、明治33年、現在の神戸駅になっている川崎の自邸に移され、さらに、昭和13年、現地に移築されたものです。ちなみに、川崎造船所は正蔵氏が、東出町海岸に川崎兵庫造船所を建設し、その後、隣接する官営兵庫造船所の払下げをうけて、明治29年株式会社となったものです。造船事業保護の名目で政府の援護の元、正蔵氏は造船王としての地位を築き、同造船所はこの頃から、神戸を代表とする企業となっていたんですね。

さて、徳光院の山門を出てさらに、山麓リボンのみちを東へ向け進みます。布引中学を左に見ながら東北の坂道を少し行くと、一人一人がやっと通れるくらいの小道に出ます。そこを経ると泉隆寺に出ます。この寺は、別名、若菜寺とよばれ、入口には、史蹟



徳光院多宝塔

若菜の里趾の碑があります。境内には、蓮如上人の若菜を詠んだ歌碑があります。このあたりは、かつては若菜の産地として知られ、よく歌に詠まれています。1772年、浪華書林から出版された「播磨めぐり(巡覧記)」によると、『中尾村、毎年正月に生田の若菜を禁裡へ献じ奉るは此所也』とありますが、今でも、毎年この寺では、お正月7日に若菜入りの七草がゆをふるまっているとのこと。そして、兵庫県の歴史散歩<上>には、『若菜というのは、大根の葉(スズシロともいう)のことで、平安時代からこの地の若菜が宮中に献上されている。…(中略)…布引の滝付近からのものがよいので慣例になり、「若菜の里」とよばれたという』と記述されています。しかし、残念ながら現在、この名は、若菜小学校や若菜通りなどにその名をとどめるばかりとなっています。

さらに東進しますと、春日野墓地があらわれます。かつて、この付近一帯は春日野と呼ばれていたことがありました。しかし、この春日野という名もこの墓地の名と阪神電車や阪急電鉄の駅名以外ほとんどその名をとどめておらず、町名にも見えません。広辞苑によると「春日野」は奈良市の西麓の野、若菜・鹿・ツツジの名所とあり、歌枕ともなっています。やはり、若菜のとれるところからこう呼ばれたのでしょうか？



史蹟 若菜の里趾

この墓地を登り切ったところに、本尊が国の重要文化財である十一面観音で有名な歓喜寺があります。藤原時代の木像ですが、残念ながら公開はされていません。

さらに東へと進みます。摩耶山麓の風光明媚の地です。摩耶山への参拝道で、かつては旧原田、旧上野両村の草山で青ヶ谷といわれ、現在は青谷町と呼ばれているところです。

西郷川上流は、草木のよく茂った川に青く澄んだ水が流れていたところから青谷川と呼ばれたということです。現在も馬頭観音のある妙光院の東奥の河川はその名残をとどめています。

まちづくり会館からのお知らせ

ホール・貸会議室の使用料が改定します。

こうべまちづくり会館では、講演会・研究会・映画会などに利用できる**ホール**、**絵画・書・写真**などの作品展示に適した**ギャラリー**、大・小2つの**会議室**をご利用いただいております。

神戸市の公の施設の使用料の見直しがあり、4月1日からのご利用につきましては、下記のとおり使用料となります。

(※営利目的でのご利用は料金が5倍となります)

施設			使用料 (単位:円)					
室名	定員	面積 (㎡)	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	終日
			10:00~12:00	13:00~17:00	17:30~21:00	10:00~17:00	13:00~21:00	10:00~21:00
ホール	90	104	3,300	6,500	5,700	8,800	11,000	13,200
ギャラリー	-	178	1日につき 13,300 (原則として6日間 79,800)					
会議室 (大及び小)	40	80	2,500	5,000	4,400	6,800	8,500	10,100
会議室 (大)	22	43	1,400	2,700	2,400	3,600	4,600	5,500
会議室 (小)	18	37	1,200	2,300	2,000	3,100	3,900	4,700

会議室・ホールの利用申込みは使用日の3月前の月の初日(休館日の場合は翌日)から電話で受付けております(先着順)。受付時間は、午前10時から午後6時までです。

ギャラリーは使用日の1年前の月の初日(休館日の場合は翌日)からの受付で、必ず来館の上お申込みください。なお、月の初日に限り、午前10時から午前10時30分までの受付時間を設け、使用予定日が重複した場合の抽選を行っております。

《詳細は会館までお問合せください》

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期間	テーマ・内容	主催者
3月27日(木)~4月8日(火)	北区フォトコンテスト受賞作品展	北区まちづくり推進課
4月10日(木)~29日(火)	第9回神戸まちなみ緑花コンクール入賞作品パネル展	(財)神戸市公園緑化協会 花と緑のまち推進センター

地階ギャラリーの予定

期間	テーマ・内容	主催者
3月27日(木)~4月1日(火)	真率会展《日本画》	真率会
4月3日(金)~8日(火)	水彩グループ舞子作品展	水彩グループ舞子
4月11日(金)~15日(火)	みなと銀行福友会展《絵画・書道・写真》	みなと銀行福友会
4月17日(木)~22日(火)	いくた15人会展《油彩》	いくた15人会
4月25日(金)~29日(火)	万以額装飾 坂本宣子&生徒作品展	坂本 宣子

展示時間：1階、地階いずれも午前10時~午後6時(水曜日休館) ※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



最寄駅

地下鉄海岸線 みなと元町駅西口から1分
 高速 花隈駅東口から3分 西元町東口から5分
 JR・阪神 元町駅西口から8分

こうべまちづくり会館

〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目2番14号

開館時間：午前10時~午後6時(水曜日休館)

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

電話・FAX：078-361-4565

受付：午前10時~午後6時(水曜日休館)

ただし、印刷は5時まで

